

注3

大学番号：国043

[平成25年度設置]

計画の区分：学部・学科の設置

注1

事前伺い

静岡大学 工学部 電子物質科学科
化学バイオ工学科
数理システム工学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 静岡大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 総務課長 サ 佐 トウ 藤 タダ 忠 ヒロ 弘

電話番号 054-238-4404

（夜間） 054-238-4404

FAX 054-237-0089

e-mail otsato1@ipc.shizuoka.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部（平成◇◇年度より変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部・学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	・・・	1
2	授業科目の概要	・・・	8
	工学部電子物質科学科	・・・	8
	工学部化学バイオ工学科	・・・	14
	工学部数理システム工学科	・・・	20
3	施設・設備の整備状況，経費	・・・	25
4	既設大学等の状況	・・・	26
5	教員組織の状況	・・・	30
6	留意事項に対する履行状況等	・・・	33
7	その他全般的事項	・・・	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 静岡大学

(2) 大 学 名

静岡大学

(3) 大学の位置

〒432-8561

静岡県浜松市中区城北3丁目5番1号

〒422-8529
静岡県静岡市駿河区大谷836番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長			
理 事			
学 部 長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
・ 様式は，平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが，開設年度・
修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合
には，欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 電子物質科学科 学士(工学)	4年	110人	— 年次人	440人	
工学部 化学バイオ工学科 学士(工学)	4	105	—	420	
工学部 数理システム工学科 学士(工学)	4	50	—	200	

- (注) ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前的人数，変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は，「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

(工学部電子物質科学科)

対象年度 区 分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	108人 (-) [2]	2人	108人 (-) [2]	2人	人 () []	人	人 () []	人	1.05倍	
志願者数	434 (-) [1]	1 (-) [1]	304 (-) [0]		() []	() []	() []	() []		
受験者数	304 (-) [1]	1 (-) [1]	228 (-) [0]		() []	() []	() []	() []		
合格者数	123 (-) [0]	1 (-) [1]	120 (-) [0]		() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	116 (-) [0]	1 (-) [1]	115 (-) [0]		() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.06		1.04							

(工学部化学バイオ工学科)

対象年度 区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	103人 (-) [2]	2人 (-) [2]	103人 (-) [2]	2人 (-) [2]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.00倍	
志願者数	722 (-) [3]	2 (-) [2]	353 (-) [2]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
受験者数	513 (-) [2]	2 (-) [2]	227 (-) [2]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
合格者数	130 (-) [1]	0 (-) [0]	113 (-) [0]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
B 入学者数	108 (-) [1]	0 (-) [0]	104 (-) [1]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
入学定員超過率 B / A	1.02		0.99							

(工学部数理システム工学科)

対象年度 区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	48人 (-) [2]	2人 (-) [2]	48人 (-) [2]	2人 (-) [2]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.97倍	
志願者数	166 (-) [2]	3 (-) [3]	173 (-) [1]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
受験者数	114 (-) [1]	3 (-) [3]	141 (-) [1]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
合格者数	55 (-) [0]	1 (-) [1]	55 (-) [1]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
B 入学者数	48人 (-) [0]	0 (-) [0]	49 (-) [1]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
入学定員超過率 B/A	0.96		0.98							

(注) ・ 数字は、平成 2 6 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。

- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点第 2 位まで**記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様**にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

(工学部電子物質科学科)

対象年度 学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 116	[1] 1	[-] 115	[-] 0	[]	[]	[]	[]	
2年次			[-] 116	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次					[]	[]	[]	[]	
4年次							[]	[]	
計							[]	[]	
	[1] 117		[-] 231						

(工学部化学バイオ工学科)

対象年度 学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[4] 111	[-] 0	[1] 104	[1] 1	[]	[]	[]	[]	平成25年度の在学者111人（うち留学生4人）には、物質工学科及びシステム工学科から転学科した3人（うち留学生3人）の平成24年10月入学者を含む。 平成26年度その他の学期1年次在学者1人（うち留学生1人）は、電子物質科学科の平成25年度その他の学期入学者1人が、平成26年4月に転学科したものである。
2年次			[4] 109	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次					[]	[]	[]	[]	
4年次							[]	[]	
計							[]	[]	
	[4] 111		[6] 214						

(工学部数理システム工学科)

学 年	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[-] 48	[-] 0	[2] 50	[-] 0	[]	[]	[]	[]	
2 年次			[-] 48	[]	[]	[]	[]	[]	
3 年次					[]	[]	[]	[]	
4 年次							[]	[]	
計			[2] 98				[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成 2 6 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

(工学部電子物質科学科)

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	117 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	115 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	232 人	0 人					0 %

(工学部化学バイオ工学科)

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	111 人	2 人	平成25年度	2 人	0 人	他大学入学(2)	1.8 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	104 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	215 人	2 人					0.9 %

(工学部数理システム工学科)

区 分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	48 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	49 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	97 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 電子物質科学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
基礎 教育 科目	新入生セミナー	1前	1									兼 1	
	学部横断セミナー (ものづくり・理科教育支援)	2・3前・後		2								兼 1	集中
	情報処理	1前	2									兼 1	
	英語演習Ⅰ	1前		1								兼 1	
	基礎英語演習	1後		1								兼 1	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼 1	
	英語コミュニケーションⅡ	1後		1								兼 1	
	英語ライティングⅠ	1後		1								兼 1	
	英語ディスカッション	1後・2前		2								兼 1	
	英語リーディングⅡ	1後		2								兼 1	
	英語インテンシブA	1後		2								兼 1	集中
		1後 2後		1								兼 1	授業内容から見て1年次から履修をした方が学習効果が高いとの理由により配当年次を変更(25)
	英語リーディングⅠ	1後 2前		1								兼 1	授業内容から見て1年次から履修をした方が学習効果が高いとの理由により配当年次を変更(25)
	英語演習Ⅲ	1後 2前		2								兼 1	授業内容から見て1年次から履修をした方が学習効果が高いとの理由により配当年次を変更(25)
	英語ライティングⅡ	2後		2								兼 1	
	英語インテンシブB	2後		2								兼 1	集中
	アカデミックイングリッシュⅠ	3前	2									兼 1	
	アカデミックイングリッシュⅡ	2後・3前・後		2								兼 1	
	アカデミックイングリッシュⅢ	2後・3前・後		2								兼 1	
	ビジネスイングリッシュ	3前		2								兼 1	
	初修外国語入門Ⅰ	2前		1								兼 1	
	初修外国語入門Ⅱ	2後		1								兼 1	
	初修外国語Ⅰ	3前		2								兼 1	
	初修外国語Ⅱ	3後		2								兼 1	
	初修外国語Ⅲ	4前		2								兼 1	
	初修外国語Ⅳ	4後		2								兼 1	
	英語海外研修A	1・2・3・4休		2								兼 1	
	英語海外研修B	1・2・3・4休		2								兼 1	
	健康体育Ⅰ	3・4前		1								兼 1	
	健康体育Ⅱ	3・4後		1								兼 1	
	キャリアデザイン	2後	1									兼 1	
	工学基礎実習	1前	1									兼 8	
	創造教育実習	1後	1									兼 8	
	全学 教育 科目 (教養科)	哲学	1・2・3前・後		2							兼 1	
		歴史と文化	1・2・3前・後		2							兼 1	
		世界のことばと文化	1後		2							兼 1	
		ことばと表現	1・2・3前		2							兼 1	
日本国憲法		1・2・3前・後		2							兼 1		
法と社会		1・2・3後		2							兼 1		
経済と社会		1・2・3前・後		2							兼 1		

目)	現代教養科目	国際社会と日本 国際社会と文化	1・2・3前	2						兼 1	授業内容との整合性からより ふさわしい授業科目名に変更 (25)
		現代の社会	1・2・3後	2						兼 1	
		心理学	1・2・3前・後	2						兼 1	
		地域と文化	1・2・3前・後	2						兼 1	
		芸術論	1・2・3後	2						兼 1	
		数理の構造	1・2・3前	2						兼 1	
		自然と物理	1・2・3後	2						兼 1	
		生活の科学	1・2・3後	2						兼 1	
		生命科学	1・2・3後	2						兼 1	
		生物と環境	1・2・3後	2						兼 1	
		地球科学	1・2・3前	2						兼 1	
		進化と地球環境	1・2・3前	2						兼 1	
		科学と技術	1・2・3前・後	2						兼 1	
目)	学際科目	テーマ「国際・地域」科目	2・3前	2						兼 1	
		テーマ「環境・自然」科目	2・3前	2						兼 1	
		テーマ「現代社会」科目	2・3前	2						兼 1	
		テーマ「生命・人間」科目	2・3前	2						兼 1	
		テーマ「科学・技術」科目	2・3前	2						兼 1	
目)	留学生科目	日本語Ⅰ	1前		2					兼 1	
		日本語Ⅱ	1前		2					兼 1	
		日本語Ⅲ	2後		2					兼 1	
		日本語Ⅳ	2後		2					兼 1	
		日本語Ⅴ	2前		2					兼 1	
		日本語Ⅵ	3後		2					兼 1	
		日本事情	1前		2					兼 1	
目)	N I F E 科目	基礎日本語Ⅰ	1後		1					兼 1	
		基礎日本語Ⅱ	1後		1					兼 1	
		基礎日本語Ⅲ	1後		1					兼 1	
		基礎日本語Ⅳ	1後		1					兼 1	
		基礎日本語Ⅴ	1後		1					兼 1	
		基礎日本語Ⅵ	1後		1					兼 1	
		基礎日本語Ⅶ	1後		1					兼 1	
		基礎日本語Ⅷ	1後		1					兼 1	
		基礎日本語Ⅸ	1後		1					兼 1	
		基礎日本語Ⅹ	1後		1					兼 1	
目)	N I F E 授業	日本産業史	1後		2					兼 1	
		社会と製造業	3前		2					兼 6	
目)	教職科目	教育の原理	2・3・4後	2						兼 1	
		発達と学習	2・3・4前	2						兼 1	
目)	理系基礎科目	微分積分Ⅰ	1前	2						兼 6	
		線形代数学Ⅰおよび演習	1前	3						兼 4	
		力学・波動Ⅰ	1前	2		2	2				
		工学基礎化学Ⅰ	1前	2						兼 2	
		線形代数学Ⅱ	1後	2						兼 4	
		微分積分Ⅱおよび演習	1後	3						兼 6	
		力学・波動Ⅱ	1後	2		3	2			兼 3	
		工学基礎化学Ⅱ	1後	2						兼 1	
		基礎無機化学	1後	2			1				
		現代物理	2前	2		1	1				
		物理・化学実験	2前	1		1	2			兼 4	
目)	E N I F E 理系基礎科目	基礎現代数学演習	1後		1					兼 1	
		基礎物理演習	1後		1	3	3				
		基礎化学演習	1後		1					兼 3	

専門基礎科目 (学科共通科目)	電子物質科学概論Ⅰ	1前	2		4						
	電子物理数学	1前	2		1						
	物理化学Ⅰ	1前	2		1	1					
	電子物質科学概論Ⅱ	1後	2		3	1					
	基礎電気回路	1後	2		1						
	物理化学Ⅱ	1後	2		1	1					
	基礎電磁気学	2前	2		1						
	基礎電子回路	2前	2		1						
	統計力学	2前	2		1						
	固体物理Ⅰ	2前	2		1						
	X線回折・結晶科学	2前	2		1						
	機械工学概論	2後	2						兼1		
	電気電子工学概論	2後	2						兼1		
	化学バイオ工学概論	2後	2						兼2+	担当教員の見直しのため(26)	
	システム工学概論	2後	2						兼1		
	物質合成工学	2後	2		1	1					
	基礎有機高分子材料	2後	2		2						
	固体物理Ⅱ	2後	2		1						
	材料分析	2後	2		1	2 3					担当教員教授昇任のため(26)
	環境工学	3前	2		1						
	材料物性	3前	2			1					
	エネルギー電気化学	3前	2		1						
	電子デバイスⅠ	3前	2			1					
	エネルギー材料	3後	2			2					
	プラズマ工学	3後	2		1						
	電子デバイスⅡ	3後	2			1					
専門応用科目 (電子物理デバイスコース)	電気回路	2前		3		1					
	応用数学Ⅰ	2前		2		1					
	応用数学Ⅱ	2前		2		1					
	電子物理工学セミナー	2前		1	8	8					
	電磁気学	2後		3	2						
	量子力学	2後		2	1						
	アナログ電子回路	2後		3	1						
	応用数学Ⅳ	2後		2		1					
	応用数学Ⅴ	2後		2	1	1					担当教員の見直しのため(26)
	電子物理デバイス工学実験Ⅰ	2後		1	2	1		1			担当教員の見直しのため(26)
	電磁波工学	3前		2	1						
	電気電子計測	3前		2		1					
	プログラミング	3前		3		1					
	デジタル電子回路	3前		3	1						
	電子物理デバイス工学実験Ⅱ	3通		3		3		3			
	過渡現象論	3後		2	1						
	数値計算法	3後		2				1			
	量子エレクトロニクス	3後		2	1						
	画像デバイス工学	3後		2	1						
	セミナー	4前		1	10	9		3			
専門	固体化学	2前		2	2 1	1					担当教員教授昇任のため(26)
	有機化学	2前		2	1						
	触媒化学	2前		2	1						
	研究体験実習	2前		2		3		3			
	電気化学基礎	2後		2	1	1					
	表面界面工学	2後		2	1						
	材料エネルギー化学実験Ⅰ	2後		1		3		3			

応用科目 (材料エネルギー化学コース)	材料エネルギー化学演習Ⅰ	2後		1		3		3			
	無機材料	3前		2		1					
	高分子科学	3前		2		1					
	量子物質化学	3前		2		1					
	材料エネルギー化学実験Ⅱ	3前		2		3		3			
	材料エネルギー化学演習Ⅱ	3前		1		3		3			
	材料エネルギー化学実験Ⅲ	3後		2		3		3			
	応用無機材料	3後		2		2					
	機能性有機材料	3後		2		1	1				
	光機能材料	3後		2		1					
	材料エネルギー化学演習Ⅲ	3後		1		3		3			
	基礎製図	3後		1		1					
	技術者倫理	3後		1						兼 1	
	インターンシップ	3前・後		1							
	知的財産権	4前		1						兼 1	
	セミナーⅠ	4前		1		7	5		3		
	セミナーⅡ	4後		1		7	5		3		
学部共通科目	安全工学	4前		2		1				兼 4	
	経営システム工学	4前		2						兼 5	
	技術とマネジメント	4前		2						兼 4	
E N I F E 専門	環境・エネルギーと技術	2前			2					兼 1	
	技術の国際化	2後 1後			2					兼 6	教育効果の充実のため開講年次を変更(25)
卒業研究	卒業研究	4通	3			22 21	15 14	0	6	0	担当教員の見直しのため(26)
教科に関する科目	職業指導	3・4前			4					兼 1	集中
教職専門科目Ⅰ	教育課程と方法	3・4前			2					兼 1	集中 集中 教員免許状課程認定の際に、一つの科目中に教育課程に関する内容と教育方法に関する内容を含ませる授業内容では、双方の内容とも不十分な授業内容になってしまうため、それぞれの内容ごとの科目を開設するよう指摘を受けたことから、科目を削除(25)
	教育課程の意義と方法	3・4前			1					兼 1	集中 教員免許状課程認定の際の上記の指摘により科目を追加(25)
	教育の方法及び技術	3・4前			1					兼 1	集中 教員免許状課程認定の際の上記の指摘により科目を追加(25)
	特別活動論	3・4後			2					兼 1	
	生徒指導	3・4前			2					兼 1	集中
教職専門科目Ⅱ	工業科教育法Ⅰ	3・4前			2					兼 1	集中
	工業科教育法Ⅱ	3・4前			2					兼 1	集中
	教育実習事前・事後指導	3～4後			1					兼 1	集中
	教育実習	4前			2					兼 1	集中
	教職実践演習(中・高)	4後			2					兼 1	集中

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 24	科目 121	科目 33	科目 178	科目 24 [0]	科目 121 [0]	科目 34 [1]	科目 179 [1]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	教育課程と方法	2	3・4前	専門	自由	教職課程認定の審査において、「一つの科目中に教育課程に関する内容と教育方法に関する内容を含ませる授業内容では、双方の内容とも不十分な授業内容になってしまうため、「教育課程の意義及び編成の方法」及び「教育の方法及び技術（情報機器及び教材の教材の活用を含む。）」毎に別々に授業を開設し、双方の内容とも十分に取扱うようにすること。」との指摘を受け、『教育課程と方法』の授業内容を分割して『教育課程の意義と方法』（1単位）と『教育の方法及び技術』（1単位）の2科目を開設したことにより、『教育課程と方法』は廃止した。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※大学の所見

「教育課程と方法」を廃止する代替措置として「教育課程の意義と方法」及び「教育の方法及び技術」を開講することになっているため、学生への影響はない。

※学生への周知方法

入学前の措置であるため学生への周知はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	0.00
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学部 化学バイオ工学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
基 軸 教 育 科 目	新入生セミナー	1前	1								兼 1	集中		
	学部横断セミナー (ものづくり・理科教育支援)	2・3前・後		2							兼 1			
	情報処理	1前	2								兼 1			
	英語演習Ⅰ	1前		1							兼 1			
	基礎英語演習	1後		1							兼 1			
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1								兼 1			
	英語コミュニケーションⅡ	1後		1							兼 1			
	英語ライティングⅠ	1後		1							兼 1			
	英語ディスカッション	1後・2前		2							兼 1			
	英語リーディングⅡ	1後		2							兼 1			
	英語インテンシブA	1後		2							兼 1			
	英語演習Ⅱ	1後 2後		1							兼 1	授業内容から見て1年次から履修をした方が学習効果が高いとの理由により配当年次を変更(25)		
	英語リーディングⅠ	1後 2前		1							兼 1	授業内容から見て1年次から履修をした方が学習効果が高いとの理由により配当年次を変更(25)		
	英語演習Ⅲ	1後 2前		2							兼 1	授業内容から見て1年次から履修をした方が学習効果が高いとの理由により配当年次を変更(25)		
	英語ライティングⅡ	2後		2							兼 1	集中		
	英語インテンシブB	2後		2							兼 1			
	アカデミックイングリッシュⅠ	3前	2								兼 1			
	アカデミックイングリッシュⅡ	2後・3前・後		2							兼 1			
	アカデミックイングリッシュⅢ	2後・3前・後		2							兼 1			
	ビジネスイングリッシュ	3前		2							兼 1			
	初修外国語入門Ⅰ	2前		1							兼 1			
	初修外国語入門Ⅱ	2後		1							兼 1			
	初修外国語Ⅰ	3前		2							兼 1			
	初修外国語Ⅱ	3後		2							兼 1			
	初修外国語Ⅲ	4前		2							兼 1			
	初修外国語Ⅳ	4後		2							兼 1			
	英語海外研修A	1・2・3・4休		2							兼 1			
	英語海外研修B	1・2・3・4休		2							兼 1			
	健康体育Ⅰ	3・4前		1							兼 1			
	健康体育Ⅱ	3・4後		1							兼 1			
	キャリアデザイン	2後	1								兼 1			
	工学基礎実習	1前	1								兼 8			
	創造教育実習	1後	1								兼 8			
	全 学 教 育 科 目 (教 養 科 目)	哲学	1・2・3前・後		2								兼 1	授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(25)
		歴史と文化	1・2・3前・後		2								兼 1	
		世界のことばと文化	1後		2							兼 1		
		ことばと表現	1・2・3前		2							兼 1		
日本国憲法		1・2・3前・後		2							兼 1			
法と社会		1・2・3後		2							兼 1			
経済と社会		1・2・3前・後		2							兼 1			
国際社会と日本		1・2・3前		2							兼 1			
国際社会と文化														
現														

代 教 養 科 目	現代の社会	1・2・3後		2						兼 1	
	心理学	1・2・3前・後		2						兼 1	
	地域と文化	1・2・3前・後		2						兼 1	
	芸術論	1・2・3後		2						兼 1	
	数理の構造	1・2・3前		2						兼 1	
	自然と物理	1・2・3後		2						兼 1	
	生活の科学	1・2・3後		2						兼 1	
	生命科学	1・2・3後		2						兼 1	
	生物と環境	1・2・3後		2						兼 1	
	地球科学	1・2・3前		2						兼 1	
	進化と地球環境	1・2・3前		2						兼 1	
	科学と技術	1・2・3前・後		2						兼 1	
学 際 科 目	テーマ「国際・地域」科目	2・3前		2						兼 1	
	テーマ「環境・自然」科目	2・3前		2						兼 1	
	テーマ「現代社会」科目	2・3前		2						兼 1	
	テーマ「生命・人間」科目	2・3前		2						兼 1	
	テーマ「科学・技術」科目	2・3前		2						兼 1	
留 学 生 科 目	日本語Ⅰ	1前			2					兼 1	
	日本語Ⅱ	1前			2					兼 1	
	日本語Ⅲ	2後			2					兼 1	
	日本語Ⅳ	2後			2					兼 1	
	日本語Ⅴ	2前			2					兼 1	
	日本語Ⅵ	3後			2					兼 1	
	日本事情	1前			2					兼 1	
N I F E 科 目	基礎日本語Ⅰ	1後			1					兼 1	
	基礎日本語Ⅱ	1後			1					兼 1	
	基礎日本語Ⅲ	1後			1					兼 1	
	基礎日本語Ⅳ	1後			1					兼 1	
	基礎日本語Ⅴ	1後			1					兼 1	
	基礎日本語Ⅵ	1後			1					兼 1	
	基礎日本語Ⅶ	1後			1					兼 1	
	基礎日本語Ⅷ	1後			1					兼 1	
	基礎日本語Ⅸ	1後			1					兼 1	
	基礎日本語Ⅹ	1後			1					兼 1	
E 新 業	日本産業史	1後			2					兼 1	
	社会と製造業	3前			2					兼 6	
教 養 科 目	教育の原理	2・3・4後		2						兼 1	
	発達と学習	2・3・4前		2						兼 1	
理 系 基 礎 科 目	微分積分Ⅰ	1前	2							兼 6	
	線形代数学Ⅰおよび演習	1前	3							兼 4	
	力学・波動Ⅰ	1前	2							兼 4	
	工学基礎化学Ⅰ	1前	2			1				兼 1	
	微分積分Ⅱおよび演習	1後	3							兼 6	
	線形代数学Ⅱ	1後	2							兼 4	
	工学基礎化学Ⅱ	1後	2			1		1			
	基礎無機化学	1後	2			1		1			担当教員の見直しのため(26)
E 理 系 基 礎 科 目	基礎現代数学演習	1後			1					兼 1	
	基礎物理演習	1後			1					兼 6	
	基礎化学演習	1後			1	2		1			
	化学バイオ工学概論	1前	2			1		1 2			担当教員の見直しのため(25)
	機械工学概論	1後		2						兼 1	
	電気電子工学概論	1後		2						兼 1	
	電子物質科学概論	1後		2						兼 1	
	システム工学概論	1後		2						兼 1	

専門基礎科目 (学科共通)	基礎有機化学	1後	2			1							
	物理化学Ⅰ	1後	2			1 2						担当教員の見直しのため(25)	
	化学工学Ⅰ	1後	2			1	4					担当教員の見直しのため(25)	
	物理化学Ⅱ	2前	2			1	4					担当教員の見直しのため(26)	
	化学工学Ⅱ	2前	2			4	1					担当教員の見直しのため(26)	
	有機化学Ⅰ	2前	2			2	1					担当教員の見直しのため(26)	
	無機化学Ⅰ	2前	2			1							
	高分子科学	2前		2		1							
	有機化学Ⅱ	2後	2			1							
	無機化学Ⅱ	2後	2			1	1						
	生物化学	2後		2			1						
	基礎機械工学	3前	2								兼 1		
	技術者倫理	3後	1								兼 1		
	インターンシップ	3後		1		1							
専門応用科目 (環境応用化学コース)	電磁気学	2前		2							兼 2		
	物理・化学実験	2前		1		2	2				兼 3		
	環境化学	2前		2		1	1						
	環境応用化学演習Ⅰ	2前		1					4				
	熱統計力学	2後		2							兼 2 5	担当教員の見直しのため(26)	
	物質循環化学	2後		2			1						
	環境化学工学	2後		2			1						
	移動現象論Ⅰ	2後		2			1						
	環境応用化学実験Ⅰ	2後		1			1		4			担当教員の見直しのため(26)	
	環境応用化学演習Ⅱ	2後		1			1		4			担当教員の見直しのため(26)	
	量子化学	3前		2		1							
	合成有機化学	3前		2			1						
	環境応用化学実験Ⅱ	3前		2			1		4			担当教員の見直しのため(26)	
	反応工学	3前		2		1							
	グリーン環境技術	3前		2		1	1						
	移動現象論Ⅱ	3前		2			1						
	環境応用化学演習Ⅲ	3前		1					4				
	環境応用化学実験Ⅲ	3後		2					4				
	基礎製図	3後		1							兼 1		
	環境触媒化学	3後		2		1							
	電気化学	3後		2			1						
	光機能化学	3後		2		2							
	生体有機化学	3後		2		1	1						
	工業化学	3後		2		1	1						
	プロセス工学	3後		2			2						
	機械的単位操作	3後		2			2						
	環境応用化学演習Ⅳ	3後		1					4				
専門応用科目 ()	生物学Ⅰ	2前		2		4	1					担当教員の見直しのため(26)	
	生物学Ⅱ	2後		2		4	1					担当教員の見直しのため(26)	
	化学・生物実験	2後		1		1	1						
	材料物性基礎	2前		2			1						
	微生物工学	2前		2		1	1					担当教員の見直しのため(26)	
	酵素工学	2後		2		1	4					担当教員教授昇任のため(26)	
	移動現象論Ⅰ	2後		2			1						
	応用生物化学基礎	3前		2			1						
	プロセス化学	3前		2			1						
	生体分子機能工学	3前		2		1							
	生物化学工学	3前		2		1							
	バイオ工学実験Ⅰ	3前		2			2		1				

ハイオ 応用 工学 コース	遺伝子工学	3前		2		1					
	生物システム工学	3前		2		1					
	移動現象論Ⅱ	3前		2		1					
	バイオ工学演習Ⅰ	3前		1		1		1			
	応用生物化学演習	3後		1		1		1			
	バイオ工学実験Ⅱ	3後		2		2		1			
	生物材料化学	3後		2		1					
	生物物性科学	3後		2		1					
	バイオレオロジー	3後		2		1					
	生理学	3後		2		1					
	食品工学	3後		2		1					
	生体医用情報工学	3後		2		1					
	バイオ工学演習Ⅱ	3後		1		2					
学部 共通 科目	安全工学	3前		2		1				兼 4	
	経営システム工学	4前		2						兼 5	
	技術とマネジメント	4前		2						兼 4	
E N I F E 専 門	環境・エネルギーと技術	2前			2					兼 1	
	技術の国際化	2後 1後			2					兼 6	教育効果の充実のため開講年次を変更(25)
卒業 研究 等	セミナーⅠ	4前	1			13 15	15 16	1	6 5		担当教員の見直しのため(26)
	セミナーⅡ	4後	1			13 15	15 16	1	6 5		担当教員の見直しのため(26)
	卒業研究	4通	3			13 15	15 16	1	6 5		担当教員の見直しのため(26)
教科に關 する科目	職業指導	3・4前			4					兼 1	集中
教職 専 門 科目Ⅰ	教育課程と方法	3・4前			2					兼 1	集中 教員免許状課程認定の際に、一つの科目中に教育課程に関する内容と教育方法に関する内容を含ませる授業内容では、双方の内容とも不十分な授業内容となってしまうため、それぞれの内容ごとの科目を開講するよう指摘を受けたことから、科目を削除(25)
	教育課程の意義と方法	3・4前			1					兼 1	集中 教員免許状課程認定の際の上記の指摘により科目を追加(25)
	教育の方法及び技術	3・4前			1					兼 1	集中 教員免許状課程認定の際の上記の指摘により科目を追加(25)
	特別活動論	3・4後			2					兼 1	
	生徒指導	3・4前			2					兼 1	集中
教職 専 門 科目Ⅱ	工業科教育法Ⅰ	3・4前			2					兼 1	集中
	工業科教育法Ⅱ	3・4前			2					兼 1	集中
	教育実習事前・事後指導	3～4後			1					兼 1	集中
	教育実習	4前			2					兼 1	集中
	教職実践演習(中・高)	4後			2					兼 1	集中

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 30	科目 115	科目 33	科目 178	科目 30 [0]	科目 115 [0]	科目 34 [1]	科目 179 [1]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1 科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教育課程と方法	2	3・4前	専門	自由	教職課程認定の審査において、「一つの科目中に教育課程に関する内容と教育方法に関する内容を含ませる授業内容では，双方の内容とも不十分な授業内容になってしまうため，「教育課程の意義及び編成の方法」及び「教育の方法及び技術（情報機器及び教材の教材の活用を含む。）」毎に別々に授業を開設し，双方の内容とも十分に扱うようにすること。」との指摘を受け、『教育課程と方法』の授業内容を分割して『教育課程の意義と方法』（1単位）と『教育の方法及び技術』（1単位）の2科目を開設したことにより、『教育課程と方法』は廃止した。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※大学の所見

「教育課程と方法」を廃止する代替措置として「教育課程の意義と方法」及び「教育の方法及び技術」を開講することになっているため，学生への影響はない。

※学生への周知方法

入学前の措置であるため学生への周知はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	0.00
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<工学部 数理システム工学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
基 軸 教 育 科 目	新入生セミナー	1前	1								兼 1	集中
	学部横断セミナー (ものづくり・理科教育支援)	2・3前・後		2							兼 1	
	情報処理	1前	2								兼 1	
	英語演習Ⅰ	1前		1							兼 1	
	基礎英語演習	1後		1							兼 1	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1								兼 1	
	英語コミュニケーションⅡ	1後		1							兼 1	
	英語ライティングⅠ	1後		1							兼 1	
	英語ディスカッション	1後・2前		2							兼 1	
	英語リーディングⅡ	1後		2							兼 1	
	英語インテンシブA	1後		2							兼 1	集中
	英語演習Ⅱ	1後 2後		1							兼 1	授業内容から見て1年次から履修をした方が学習効果が高いとの理由により配当年次を変更(25)
	英語リーディングⅠ	1後 2前		1							兼 1	授業内容から見て1年次から履修をした方が学習効果が高いとの理由により配当年次を変更(25)
	英語演習Ⅲ	1後 2前		2							兼 1	授業内容から見て1年次から履修をした方が学習効果が高いとの理由により配当年次を変更(25)
	英語ライティングⅡ	2後		2							兼 1	集中
	英語インテンシブB	2後		2							兼 1	
	アカデミックイングリッシュⅠ	3前	2								兼 1	
	アカデミックイングリッシュⅡ	2後・3前・後		2							兼 1	
	アカデミックイングリッシュⅢ	2後・3前・後		2							兼 1	
	ビジネスイングリッシュ	3前		2							兼 1	
	初修外国語入門Ⅰ	2前		1							兼 1	
	初修外国語入門Ⅱ	2後		1							兼 1	
	初修外国語Ⅰ	3前		2							兼 1	
	初修外国語Ⅱ	3後		2							兼 1	
	初修外国語Ⅲ	4前		2							兼 1	
	初修外国語Ⅳ	4後		2							兼 1	
	英語海外研修A	1・2・3・4休		2							兼 1	
	英語海外研修B	1・2・3・4休		2							兼 1	
	健康体育Ⅰ	3・4前		1							兼 1	
	健康体育Ⅱ	3・4後		1							兼 1	
	キャリアデザイン	2後	1								兼 1	
	工学基礎実習	1前	1								兼 8	
	創造教育実習	1後	1								兼 8	
全 学 教 育 科 目 (教 養 科 目)	哲学	1・2・3前・後		2							兼 1	授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(25)
	歴史と文化	1・2・3前・後		2							兼 1	
	世界のことばと文化	1後		2							兼 1	
	ことばと表現	1・2・3前		2							兼 1	
	日本国憲法	1・2・3前・後		2							兼 1	
	法と社会	1・2・3後		2							兼 1	
	経済と社会	1・2・3前・後		2							兼 1	
	国際社会と日本	1・2・3前		2							兼 1	
	国際社会と文化	1・2・3前		2							兼 1	
現												

代 教 養 科 目	現代の社会	1・2・3後	2						兼 1	
	心理学	1・2・3前・後	2						兼 1	
	地域と文化	1・2・3前・後	2						兼 1	
	芸術論	1・2・3後	2						兼 1	
	数理の構造	1・2・3前	2						兼 1	
	自然と物理	1・2・3後	2						兼 1	
	生活の科学	1・2・3後	2						兼 1	
	生命科学	1・2・3後	2						兼 1	
	生物と環境	1・2・3後	2						兼 1	
	地球科学	1・2・3前	2						兼 1	
	進化と地球環境	1・2・3前	2						兼 1	
	科学と技術	1・2・3前・後	2						兼 1	
学 際 科 目	テーマ「国際・地域」科目	2・3前	2						兼 1	
	テーマ「環境・自然」科目	2・3前	2						兼 1	
	テーマ「現代社会」科目	2・3前	2						兼 1	
	テーマ「生命・人間」科目	2・3前	2						兼 1	
	テーマ「科学・技術」科目	2・3前	2						兼 1	
留 学 生 科 目	日本語Ⅰ	1前			2				兼 1	
	日本語Ⅱ	1前			2				兼 1	
	日本語Ⅲ	2後			2				兼 1	
	日本語Ⅳ	2後			2				兼 1	
	日本語Ⅴ	2前			2				兼 1	
	日本語Ⅵ	3後			2				兼 1	
	日本事情	1前			2				兼 1	
N I F E 科 目	基礎日本語Ⅰ	1後			1				兼 1	
	基礎日本語Ⅱ	1後			1				兼 1	
	基礎日本語Ⅲ	1後			1				兼 1	
	基礎日本語Ⅳ	1後			1				兼 1	
	基礎日本語Ⅴ	1後			1				兼 1	
	基礎日本語Ⅵ	1後			1				兼 1	
	基礎日本語Ⅶ	1後			1				兼 1	
	基礎日本語Ⅷ	1後			1				兼 1	
	基礎日本語Ⅸ	1後			1				兼 1	
	基礎日本語Ⅹ	1後			1				兼 1	
E N I F E 教 養 科 目	日本産業史	1後			2				兼 1	
	社会と製造業	3前			2				兼 6	
教 養 科 目	教育の原理	2・3・4後	2						兼 1	
	発達と学習	2・3・4前	2						兼 1	
理 系 基 礎 科 目	微分積分学Ⅰ	1前	2				4 5		兼 2	担当教員の見直しのため(26)
	線形代数学Ⅰおよび演習	1前	3			2 3	2 5			担当教員の見直しのため(26)
	力学・波動Ⅰ	1前	2						兼 4	
	工学基礎化学Ⅰ	1前	2						兼 2 4	担当教員の見直しのため(26)
	線形代数学Ⅱ	1後	2			2 3	2 5 4 5			担当教員の見直しのため(26)
	微分積分学Ⅱおよび演習	1後	3			4			兼 2	担当教員の見直しのため(26)
	力学・波動Ⅱ	1後	2						兼 8 4	担当教員の見直しのため(26)
	工学基礎化学Ⅱ	1後	2						兼 2 4	担当教員の見直しのため(26)
	熱統計力学	2前		2					兼 1	
	電磁気学	2後		2					兼 1 2	担当教員の見直しのため(26)
	物理・化学実験	2前	1						兼 4	
	生物学Ⅰ	2前		2					兼 1	
	生物学Ⅱ	2後		2					兼 1	
E N I F E 基 礎 科 目	基礎現代数学演習	1後			1		1			

理系基礎科目	基礎物理演習	1後			1					兼 6	
	基礎化学演習	1後			1					兼 3	
専門基礎科目	システム工学概論	1前	2			1					
	機械工学概論	1後		2						兼 1	
	電気電子工学概論	1後		2						兼 1	
	電子物質科学概論	1後		2						兼 1	
	化学バイオ工学概論	1後		2						兼 2 1	担当教員の見直しのため (26)
	システム基礎数学	1前		2		1	4				教員免許状課程認定の際、担当教員が業績不足との指摘により教員を変更 (25)
	コンピュータ入門	1前	1				1		1		
	確率統計	1前		2			1				
	情報科学入門	1後		2			1				
	プログラミング基礎	1後		4		1	1		1		担当教員の見直しのため (26)
	環境システム工学	2後		2						兼 1	集中
	応用数学 I	2前	2	2			1				教員免許状課程認定の際、数学の専門性を確保したカリキュラムにするよう指摘があり選択を必修に変更 (25)
	応用数学 II	2前		2			1				
	数値計算法 I	2前		2		1	1				担当教員の見直しのため (26)
	データ構造とアルゴリズム	2前		2		1					
	モデリング I	2前	2	2		1	1				担当教員の見直しのため (26) 教員免許状課程認定の際、数学の専門性を確保したカリキュラムにするよう指摘があり選択を必修に変更 (25)
	シミュレーション技法 I	2前		2			1				
	数理計画	2前		2			1				
	応用数学 III	2後		2			1				
	応用数学 IV	2後		2			1				
	プログラミング応用	2後		2			1		1	兼 1	担当教員の見直しのため (26)
	モデリング II	2後		2		1	1				担当教員教授昇任のため (26)
	数値計算法 II	2後		2			1				
	離散最適化	2後		2			1				
	グラフ理論	2後		2			1				
	オペレーションズ・リサーチ	2後		2			1		1		
	計算システム工学	3前		2						兼 1	集中
	社会システム工学	3後		2						兼 1	集中
	コンピュータネットワーク	3前		2			1				
	シミュレーション技法 II	3前		2		1					
	環境適合設計	3前		2		1					
	技術者倫理	3前		1						兼 1	
	システム工学応用実習 I	3前	2			1			1		
	プログラムコンテスト	3前	2			1	1				
	コンピュータアーキテクチャ	3後		2			1				
	システム最適化	3後		2		1					
	意思決定分析	3後		2		1					
	リスク分析	3後		2			1				
	システム工学応用実習 II	3後	2			1			1		
	システム工学セミナー入門	3後	1			6	6		2	1	
	インターンシップ	3後		1		6	6		2	1	
	情報理論	4前		2						兼 1	
	ソフトウェア品質管理	4前		2						兼 1	
	多変量データ解析	4前		2						兼 1	
	社会モデルとシミュレーション	4前		2						兼 2	
	代数学概論	4前		2			1				教員免許状課程認定の際、一般包括的科目を開設する必要があるとの指摘があり、科目を追加 (25)

	幾何学概論	4前		2		1						教員免許状課程認定の際、一般包括的科目を開設する必要があるとの指摘があり、科目を追加(25)
	オートマトンと計算理論	4後		2						兼 1		
	情報代数及び符号理論	4後		2						兼 1		
	プロジェクトマネジメント	4後		2						兼 1		
学部共通科目	安全工学	4前		2			1			兼 4		
	経営システム工学	4前		2						兼 5		
	技術とマネジメント	4前		2						兼 4		
E N I F E 専門	環境・エネルギーと技術	2前			2					兼 1		
	技術の国際化	2後 4後			2					兼 6		教育効果の充実のため開講年次を変更(25)
卒業研究等	システム工学セミナー	4通	2			7 9	12 11		2	4		担当教員の見直しのため(26)
	卒業研究	4通	5			7 9	12 11		2	4		担当教員の見直しのため(26)
教職専門科目Ⅰ	教職入門Ⅰ	2前			1					兼 1	集中	
	教職入門Ⅱ	3後			1					兼 1	集中	
	教育課程と方法	3前			2					兼 1	集中 教員免許状課程認定の際に、一つの科目中に教育課程に関する内容と教育方法に関する内容を含ませる授業内容では、双方の内容とも不十分な授業内容となってしまうため、それぞれの内容ごとの科目を開設するよう指摘を受けたことから、科目を削除(25)	
	教育課程の意義と方法	3前			1					兼 1	集中 教員免許状課程認定の際の上記の指摘により科目を追加(25)	
	教育の方法及び技術	3前			1					兼 1	集中 教員免許状課程認定の際の上記の指摘により科目を追加(25)	
	特別活動論	3・4後			2					兼 1		
	生徒指導	3前			2					兼 1	集中	
	教育相談	3前			2					兼 1	集中	
教職専門科目Ⅱ	数学科教育法Ⅲ	2前			2					兼 1		
	数学科教育法Ⅳ	2後			2					兼 1		
	教育実習事前・事後指導	3～4後			1					兼 1	集中	
	教育実習	4前			2					兼 1	集中	
	教職実践演習(中・高)	4後			2					兼 1	集中	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
24	102	35	161	26	102	36	164	
				[2]	[0]	[1]	[3]	

別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教育課程と方法	2	3・4前	専門	自由	教職課程認定の審査において、「一つの科目中に教育課程に関する内容と教育方法に関する内容を含ませる授業内容では，双方の内容とも不十分な授業内容になってしまうため，「教育課程の意義及び編成の方法」及び「教育の方法及び技術（情報機器及び教材の教材の活用を含む。）」毎に別々に授業を開設し，双方の内容とも十分に取扱うようにすること。」との指摘を受け、『教育課程と方法』の授業内容を分割して『教育課程の意義と方法』（1単位）と『教育の方法及び技術』（1単位）の2科目を開設したことにより、『教育課程と方法』は廃止した。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※大学の所見

「教育課程と方法」を廃止する代替措置として「教育課程の意義と方法」及び「教育の方法及び技術」を開講することになっているため，学生への影響はない。

※学生への周知方法

入学前の措置であるため学生への周知はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	0.00
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²				
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²				
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²				
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²				
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
					室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		m ²							
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²							
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第 2 号（その 1 の 1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 26 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（26）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	静 岡 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
人文社会科学部	年	人	年次 人	人		倍			
社会学科	4	75	3年次 5	1,900	学士 (社会学)	1.02	昭和57年度	静岡市駿河区大谷836	平成24年度入学生より、人文学部から人文社会科学部へ学部名称変更
言語文化学科	4	75	—	300	学士 (文学)	1.05	平成 4年度	〃	
法学科	4	90	3年次 2	354	学士 (法学)	1.07	昭和53年度	〃	
法学科(夜間主コース)	4	30	3年次 3	126	〃	1.03	平成 8年度	〃	
経済学科	4	170	—	690	学士 (経済学)	0.94	昭和53年度	〃	
経済学科(夜間主コース)	4	30	—	130	〃	1.04	平成 8年度	〃	
教育学部		400		1,600		0.86			
学校教育教員養成課程	4	300	—	1,200	学士 (教育学)	1.02	平成10年度	静岡市駿河区大谷836	
生涯教育課程	4	35	—	140	〃	1.01	〃	〃	
総合科学教育課程	4	30	—	120	〃	1.02	〃	〃	
芸術文化課程	4	35	—	140	〃	1.06	〃	〃	
情報学部		200		800		1.03			
情報科学科	4	100	—	400	学士 (情報学)	1.03	平成 8年度	浜松市中区城北3-5-1	
情報社会学科	4	100	—	400	〃	1.03	〃	〃	
理学部		215		860		1.03			
数学科	4	35	—	140	学士 (理学)	1.07	昭和40年度	静岡市駿河区大谷836	
物理学科	4	45	—	180	〃	1.02	〃	〃	
化学科	4	45	—	180	〃	1.03	〃	〃	
生物科学科	4	45	—	180	〃	1.02	平成18年度	〃	
地球科学科	4	45	—	180	〃	1.01	〃	〃	

工学部		535		2,140		1.03			
機械工学科	4	165	—	630	学士 (工学)	1.03	平成 7年度	浜松市中区城北3-5-1	
電気電子工学科	4	105	—	510	〃	1.03	〃	〃	
電子物質科学科	4	110	—	220	〃	1.05	平成25年度	〃	
化学バイオ工学科	4	105	—	210	〃	1.00	〃	〃	
数理システム工学科	4	50	—	100	〃	0.97	〃	〃	
物質工学科	4	—	—	—	〃		平成 7年度	〃	平成25年度より 学生募集停止
システム工学科	4	—	—	—	〃		〃	〃	平成25年度より 学生募集停止
農学部		150	3年次 10	620		1.04			
共生バイオサイエンス学科	4	60	—	240	学士 (農学)	1.01	平成18年度	静岡市駿河区大谷836	
応用生物化学科	4	50	—	200	〃	1.06	平成元年度	〃	
環境森林科学科	4	40	—	160	〃	1.05	平成18年度	〃	
大学院人文社会科学研究科		36		72		0.95			
臨床人間科学専攻	2	11	—	22	修士 (臨床人間 科学)	1.09	平成15年度	静岡市駿河区大谷836	
比較地域文化専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	1.15	平成 9年度	〃	
経済専攻	2	15	—	30	修士 (経済学)	0.73	平成17年度	〃	
大学院教育学研究科		76		156		1.16			
学校教育研究専攻	2	52	—	104	修士 (教育学)	0.99	平成21年度	静岡市駿河区大谷836	
共同教科開発学専攻	3	4	—	12	博士 (教育学)	1.25	平成24年度	〃	
教育実践高度化専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.00	平成21年度	〃	
大学院情報学研究科		60		120		0.89			
情報学専攻	2	60	—	120	修士 (情報学)	0.89	平成12年度	浜松市中区城北3-5-1	
大学院理学研究科		70		140		1.06			
数学専攻	2	12	—	24	修士 (理学)	0.87	平成18年度	静岡市駿河区大谷836	
物理学専攻	2	14	—	28	〃	0.74	〃	〃	

化学専攻	2	18	—	36	〃	1.61	〃	〃	
生物科学専攻	2	13	—	26	〃	1.18	〃	〃	
地球科学専攻	2	13	—	26	〃	0.69	〃	〃	
大学院工学研究科		262		524		1.12			
機械工学専攻	2	78	—	156	修士 (工学)	1.18	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	
電気電子工学専攻	2	49	—	98	〃	1.15	〃	〃	
電子物質科学専攻	2	52	—	104	〃	1.02	平成25年度	〃	
化学バイオ工学専攻	2	49	—	98	〃	1.12	〃	〃	
数理システム工学専攻	2	24	—	48	〃	1.22	〃	〃	
事業開発マネジメント専攻	2	10	—	20	〃	0.70	平成18年度	〃	
物質工学専攻	2	—	—	—	〃		〃	〃	平成25年度より 学生募集停止
システム工学専攻	2	—	—	—	〃		〃	〃	平成25年度より 学生募集停止
大学院農学研究科		87		174		0.89			
共生バイオサイエンス専攻	2	34	—	68	修士 (農学)	0.76	平成20年度	静岡市駿河区大谷836	
応用生物化学専攻	2	35	—	70	〃	1.02	平成 5年度	〃	
環境森林科学専攻	2	18	—	36	〃	0.88	平成20年度	〃	
大学院自然科学系教育部		50		150		0.91			
ナノビジョン工学専攻	3	13	—	39		0.66	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	
光・ナノ物質機能専攻	3	12	—	36	博士 (学術、 理学、工 学、情報 学又は農 学)	0.44	〃	〃	
情報科学専攻	3	10	—	30		1.30	〃	〃	
環境・エネルギーシステム専攻	3	7	—	21		1.28	〃	静岡市駿河区大谷836	
バイオサイエンス専攻	3	8	—	24		1.20	〃	〃	
大学院法務研究科		20		60		0.31			
法務専攻	3	20	—	60	法務博士 (専門職)	0.31	平成17年度	静岡市駿河区大谷836	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２６年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。
（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）
- ・ 「平均定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第２位まで（小数点第３位を切り捨て）を，学科単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学においては学科単位，大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、**「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

<工学部 電子物質科学科>

(2) 専任教員数

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
21	14	0	6	41	22	15	0	6	43	65	0
(21)	(15)	(0)	(7)	(43)	[1]	[1]	[-]	[-]	[2]	歳	名

<工学部 化学バイオ工学科>

(2) 専任教員数

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
15	16	1	5	37	13	15	1	6	35	65	0
(12)	(14)	(1)	(6)	(33)	[Δ2]	[Δ1]	[-]	[1]	[Δ2]	歳	名

<工学部 数理システム工学科>

(2) 専任教員数

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
9	11	0	2	22	7	12	0	2	21	65	0
(6)	(14)	(0)	(2)	(22)	[Δ2]	[1]	[-]	[-]	[Δ1]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 - a 委員会の設置状況 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） - c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 - a 実施内容 - b 実施方法 - c 開催状況（教員の参加状況含む） - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 - a 実施の有無及び実施時期 - b 教員や学生への公開状況、方法等
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 ② 自己点検・評価報告書 - a 公表（予定）時期 - b 公表方法 ③ 認証評価を受ける計画

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

<工学部 電子物質科学科>

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (2014 年 6 月 2 日)

<工学部 化学バイオ工学科>

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (2014 年 6 月 2 日)

<工学部 数理システム工学科>

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (2014 年 6 月 2 日)